STUDY TOUR in USA 2019

ASUWA English Course

No.2　DAY 1　February 10, 2019

数日前まで比較的暖かい天気が続いていましたが、語学研修の直前になって、日本にも、訪問先の米国ワシントン州にも寒波が到来。出発前日には小松－成田便が欠航し、我々の便は大丈夫か心配になりました。またボッセルではめったにない大雪で市内は 20～30 ㎝の積雪で学校も休校になっているとの連絡が入ってきました。当日国内便が欠航した場合には新幹線で移動しなければならなくなるということで、急きょ集合時間を早めて万一の場合に備えました。

結局、幸いにも、国際線が予定通り飛ぶことがわかり、とりあえず一安心で出発式を行うことができました。

【出発式】

出発式では、まず教頭先生が英語であいさつし、健康に留意して研修にチャレンジし、安全に帰国してほしいと話されました。

国際部長の青山先生、団長の内山先生が保護者、生徒に出発のあいさつをした後、生徒代表として R.A. 君が英語でスピーチを行いました。いろいろなことが起こるだろうがどれもいい経験となるようにチャレンジしたい、研修中は常に英語を使い多くの外国人とコミュニケーションをとる機会を増やしたい、そして互いの文化を学びあって両国の懸け橋になるよう頑張りたい、と決意表明をしました。

【出発→国内線】

バスに乗り込み、大勢の保護者のみなさん、休日にも関わらず見送りに駆けつけてくださった先生方や生徒たちに見送られながら、小松空港に向けて出発しました。

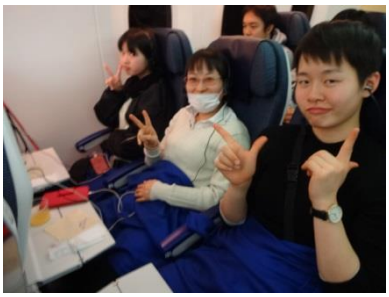
小松空港では、預け入れスーツケースのチェックと搭乗手続き、手荷物検査などを終えて、成田への国内便に乗り込みます。今回が初めての飛行機という人も多くいました。離陸に向けての加速感と離陸の瞬間の浮遊感に思わず歓声をあげた人もいました。

【国際線】

成田空港に到着した後、シアトル・タコマ空港への国際便に乗り換え。いよいよ日本を発つことになります。現地の大雪のため遅れが心配された国際便も多少の遅れでほぼ予定通りのフライトとなりました。

夜の成田を飛び立ちました。国際便の座席には全席に映画や音楽、ゲームなどを楽しめるモニターパネルが設置されおり、さっそく思い思いに使い始めました。

ほどなく夕食の機内食。今回の航空会社は日本の会社だったため、キャビンアテンダントもほとんどが日本人の方で、メニューを選ぶときも英語は使わず。また食事自体も日本人に合った味付けでした。



翌日以降の研修に疲れを残さないためにも機内ではしっかり睡眠をとるように注意を受けてはいましたが、８時間ほどのフライトのうち、夕食・朝食等に時間をとられ実際には４～５時間しか睡眠時間をとれませんでした。さらに、窮屈な姿勢ではなかなかよく眠れず、睡眠不足で到着の朝を迎えた人がほとんどでした。